

第8回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（佐竹台、高野台、桃山台、竹見台、津雲台地域）

開催日時：平成29年7月14日（金）午後2時～ 場所：千里市民センター 参加者数：25人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
佐竹台	1	<p>佐竹台歩道橋（デッキ）の改造案（最終案は設計中）は「スロープ＋階段」であり、三つの欠点がある。</p> <p>①「多くの視覚障がい者はエレベーター利用が困難で、階段経路しか選択肢がない」としている点。</p> <p>②高齢・障がい者などがデッキ（プラザ側）からエレベーター付き迂回路を経由して入橋したとき、目前に勾配4.1%（差高約90cm）、約22mもの坂が来る。この勾配は安全性に問題があるとは言えないが、せっかく設置するエレベーターの利便性は減少する。</p> <p>③まだ明らかにはされていないが、11段の階段と仮定すれば、勾配は40%前後になる。この急勾配の階段上で事故が発生した場合、軽傷では済まない。</p> <p>以上のように計画案は、バリアフリー法の目的「利便性及び安全性の向上」を図るには中途半端であるので、私案（図面）を市長に提出する。また、同法施行前の現歩道橋は法に抵触しないことからメンテナンスにとどめ、8.3%の勾配が厳しいと考えるならエレベーター付き水平歩廊道を併設する案もあわせて提出するので、見解を聞きたい。</p> <p>（※同意見あり他2件：市の案は住民の希望からかけ離れている（「階段」は交通弱者に優しい）/市の対応は強引で、市長の言う「民主的に事を進めるには時間と手間がかかせない」「傾聴と対話を大切にする」といったことが一部の職員に浸透していない。）</p>	<p>（市長回答） 説明のまずさがスタートにあったのと、どこまでが行政の責任で、どこまで地域の声をお聞きするのかが整理できていなかった。</p> <p>デッキの整備の根本はバリアフリーのための工事である。バリアフリーの設計の9割は行政の責任、残り1割に関しては障がい者からお聞きするのが全てであり、地域からお聞きするとしたら、何色にするとか、名前をどうするかなどである。政策的な話は市に任せていただきたい。その説明が最初に市の職員からできていなかった。その反省に立って、新たな体制により、まちづくりの現場力の強化を行ってきたので御理解いただきたい。</p> <p>（住民意見） 階段があるためにエレベーターを使わざるをえない見直し案に大多数の住民が反対である。 エレベーターは定員もあり、待ち時間も増え不便である。 市はスロープの勾配を5%以下にすることにこだわっている。国のガイドラインでは、条件を満たせば8%以下でもスロープの設置は可能である。 先日、落雷が原因でマンションのエレベーターが使えないことがあった。エレベーターや階段の使用時に事故があればどうするのか。</p> <p>（市長回答） エレベーターについては待ち時間もあつし、事故もある。技術力だけでは解決できない限界があることもわかっている。絶対に事故が起こらないかといえばそうではない。最小化するのが行政の責任であると考えている。</p> <p>（住民意見） 今年2月に、デッキ工事をするので3月から通行止めのお知らせが配布された。急なことで、地域と市がもめたことにより工事が6か月遅れた。そこに係る人件費も税金。もっと早くから説明すればこんなことにはならなかった。</p> <p>（市長回答） 御迷惑をおかけした。行政の責任で行うべきことを、地域の皆さんにアイデア出してくださいという印象を与えてしまったことに間違いがあった。対話のプロセスが抜けていた。</p>
	2	<p>数年前開催された市営住宅建設住民説明会にて、「市営住宅の一部に子育て広場、高齢者が集うサロンのようなものを作りたい」と要望した。しかし、2年前の建築内容説明会で市担当者は「その件は聞いていない」と返答した。</p> <p>住民説明会は、開催するだけ、聞きっぱなしではなく、実現できること、検討を要すること等を住民側にきちんとフィードバックされたい。また、住民意見や説明内容は文書で残すようにし、担当者が替わっても後任者に引き継げるようにされたい。</p>	<p>（市長回答） 調べたところ、説明会は民間事業者の行った説明会であった。事業者から市へは特に意見がなかったと報告を受けている。</p> <p>（住民意見） 8年か9年前に、市営住宅が建つということで、市から佐竹台の住民に要望や意見があればというタウンミーティング的な会合を開いてくれたものと記憶している。そのときに市営住宅なら作りやすいのではと考えて、子育て広場や高齢者のサロン、遊歩道などを要望した。遊歩道については実現している。</p> <p>（市長回答） あまり想像で答えたくないが、要望や意見を受けるというよりも提案を受ける場だったのかと思う。高齢者や児童の政策は行政の責任である。その施設が必要か検討し、市が判断したものと思われるが、どんな経過があったのかは調べてお返す。（※）</p> <p>（※）新佐竹台住宅の建替事業にあたっては、導入すべき公共公益的施設等について、関係部局に意見照会も行っているが、民間事業者による余剰地の活用用地がないことから、高齢者のサロン等の導入にいたらなかったところである。</p>

第8回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（佐竹台、高野台、桃山台、竹見台、津雲台地域）

開催日時：平成29年7月14日（金）午後2時～ 場所：千里市民センター 参加者数：25人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	3	<p>桃山台二丁目の「もものき公園」は多くの方が利用するが、公衆トイレがない。また、近辺にもトイレがないので、利用者は大変不便に感じている。早期に対処されたい。</p>	<p>(市長回答) 公園のトイレは計画的に更新したり、使用頻度の低い古いものは廃止している。全部の公園に配置できればよいが、残念ながら新設の計画はない。多くの公園についてトイレの配置は終わっているのではと考えている。 (住民意見) もものき公園は近くに小学校、幼稚園、保育園もあり、利用者が多く大変にぎわっている。商店街にもトイレがないこともあり、ぜひとも計画していただきたい。 (市長回答) 土木部で、市内全域の公園に何が不足しているか、更新すべきかを検討し、全体の計画の中で再整備に向けて取り組んでいく。</p>
桃山台	4	<p>にれのき公園の利用者は、現在、公園東側のマンション「グランファースト千里桃山台」の住民が中心（子どもが急増中）であるが、今後、公園北側の府営桃山台住宅の建替え（平成32年完成）に伴い、利用者はさらに増えると思われるので、同公園及び周辺歩道を整備されたい。</p> <p>①公園内敷地の整備とフラット化 コンクリートの部分もあり、凸凹状態で一体感がなく、部分的な範囲での利用となっている。また、公園内の不要と思われる樹木を伐採されたい。</p> <p>②遊具の新設・更新 街区公園に定番のシーソー、ジャングルジムなどを新設されたい。また、既存の滑り台、ブランコが古くなっており、事故防止のため、更新されたい。</p> <p>③時計台の設置 遊びに夢中になった子どもたちが帰宅を忘れることが多々ある。</p> <p>④公園周辺側溝へのカバー設置 府営桃山台住宅の東・南側歩道の両側溝が開いており、事故が多発している。</p>	<p>(市長回答) 大きな公園には時計台があったほうが良いと思っているが、行政が行うとなると全部の公園に設置しなければならない。これはお願いになるが、地域から設置の声が強くあって、設置費用の半分は地域の寄付金、残り半分は市の負担でということなら実現の可能性はあると思う。そういう方法も考えていただきたい。 遊具については、超高齢社会の中、少子化が進んでおり、公園利用者の客層も大きく変わってきているので、そもそも必要なのか、遊具ではなく健康器具を設置するのがよいのかなど、各世代のニーズを確認しながらの整備となる。 側溝は、清掃のことを考えて蓋がないのが基本である。危ない所について蓋を設置するかどうかは、場所ごとの判断となり、優先順位もある。特定の場所がわかっている場合は、まず土木部に問い合わせしてほしい。 (住民意見) マンション建設や府営住宅の建て替えなど、今後も利用者が増えてくだろうと思われる。早期の整備をしていただけるよう期待している。 (住民意見) 公園の高木は伐採して、中低木にしてほしい。 (市長回答) 吹田の南では緑被率は低く、1本切るだけでもなぜか大騒ぎになるほどである。北では木が多すぎて夜が危ないなど地域によっても要望に違いがある。木の整備についてはいろいろな意見を聞きながら行っていきたい。</p>
	5		<p>(住民意見) 佐竹台のデッキについて、市は障がい者に意見を聞いたと言っているがどこに聞いたのか。 (市長回答) 障がい者の団体から聞いている。</p>
	6		<p>(住民意見) 佐竹台のデッキのスロープの勾配が8%がいけなくて5%しかだめなのかが解せない。 (市長回答) 法的には8%以下でも認められているが、5%以下は吹田市のポリシーである。吹田市はなるべく角度を小さくしようというまちだと御理解いただきたい。国のポリシーを上回るポリシーを持っているのが吹田市である。</p>

第8回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（佐竹台、高野台、桃山台、竹見台、津雲台地域）

開催日時：平成29年7月14日（金）午後2時～ 場所：千里市民センター 参加者数：25人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	7		<p>（住民意見） 南千里から桃山台の沿道の計画をどのように考えているか。 （市長回答） 進めているのは緑化である。ただ車が通るだけでなく、歩くのが楽しい空間にしたいと思っている。</p>
	8		<p>（住民意見） 竹見台は桃山台と一緒に近隣センター等開発の課題がある。1年でも早く整備を進めてほしい。 （市長回答） 南千里から桃山台に抜ける道、道路両側の府営住宅、近隣センター周辺の開発について、今後どうあるべきかはニュータウン全体を左右する重要な問題である。 商業が成功するかどうかは、市が手を入れるものではなく、自主努力である。事業者の才覚や知恵を楽しみにしている。 府は、桃山台近隣センターに隣接している府営桃山台住宅の建替え事業を行い、約半分の敷地を高層化し、残りの土地を売却する、これが基本形である。 その売却地の約半分は府が民間に売却すると思うが、残りを吹田市が押さえる。ここを押さえないと今回の商業の建替えはできないという判断で進めている。</p>
	9		<p>（住民意見） 千里南公園に喫茶店ができると聞いたが、どういうものなのか。 （市長回答） パークカフェをつくることを公約としていた。地域の方々がゆっくり景色を眺めながらお茶する場所ができたらと思っている。事業者も決まり、今はデザインを設計しているところである。来年度中に完成予定なので楽しみにしてほしい。</p>
	10		<p>（住民意見） 千里南公園のトイレがよく壊れている。メンテナンスをきめ細かくやってほしい。 （市長回答） トイレの掃除等は業者に委託しているが、公衆トイレは課題が多く、有料も考えるが、反対意見が多い。今後2か所のうち1か所は廃止予定である。パークカフェの整備とあわせてきれいにする計画である。</p>
	11		<p>（住民意見） 千里南公園のイベント以外の普段の日は、ほとんど子どもがいない。子どもの遊び場として今後どのように考えているか。 （市長回答） 確かに大人の公園だと思う。もっと公園に行きたいと思ってもらえるよう、公園の北半分、円形広場の西側を整備していきたい。</p>
	12		<p>（住民意見） 草や土がたまっていて道路の冠水の原因になると思われる側溝をたびたび見かける。市の計画はどうなっているか。 （市長回答） ニュータウンから南に水が流れていくこともあり、下水道事業は吹田の南や江坂方面を優先的に行っていることを御理解いただきたい。個別の側溝の清掃については土木部に問い合わせいただきたい。</p>